


お花の栽培シリーズ「サギソウ」

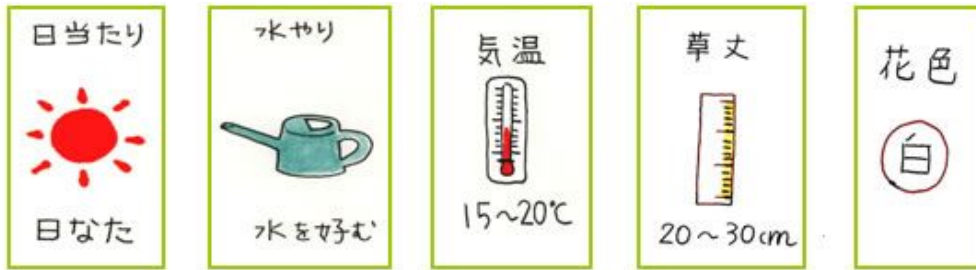
2007年3月	弥生(やよい)・桜月(さくらづき)・花見月(はなみつき)・ 夢見月(ゆめみつき)・晩春(ばんしゅん)	●大地が本格的に活動しはじめる季節
日ごとに日ざしが強くなり、天気は周期的に変わりがちです。日本海側でも、雪の日は少なくなり、春の兆しが見え始めます。草花の待ちに待った春がやってきます。		
庭木の作業	・落葉樹・常緑樹の植え替え	
草花の作業	・1年草や宿根草は、地ごしらえをして中旬までには植付けを終わらせる。 ・夏咲き球根は、分球して植えつける。	

今月の誕生花	アイリス・スイートピー・スマレ・フリージア	
今月の花	スノードロップ 花言葉 / 希望、慰め、恋の最初のまなざし	
	大昔、禁断の実を食べてしまったアダムとイブは、降りしきる雪の中へ、エデンの園から追い出されてしまいました。そこへ 天使が現れて「もうすぐ春が来るので 絶望してはいけませんよ」と 二人を慰め、冷たい雪を スノードロップの花に変えた・・・といわれています。 「希望」「慰め」という花言葉は、こんなところから 生まれたようです。 キリスト教では、聖母マリアが 生後40日のキリストと 宮参りをした2月2日に「キャンドルマス」が行われますが、イギリスの地方ではこの日、スノードロップを 籠いっぱい 積んできて、家を清める・・・という風習があるそうです。 スコットランドでは、お正月が来る前に この花を見つけたら、翌年の幸せが約束されるといわれているそうです。	
		
	まだ 雪が残っている早春に、1茎に1輪、釣り鐘状の小さな花を 下向きにつける この花を、日本では「マツユキソウ」とよんでいます。 ヨーロッパでは、雪の残る山野に 他の花に先がけて花を咲かせるというので、「雪のしずく」あるいは「雪の花」と呼ばれているようです。	
	原産地はフランス～コーカサス山脈。ヒガンバナ科マツユキソウ(ガランツス)属の多年草。草丈は10～30cm。開花時期は2～3月。最盛期は2～3月。葉の形状は、線形、長さ15～20cmの縦溝あり。花色は、純白。英名スノードロップ(Snowdrop)。別名ガランサス、ユキノハナ、待雪草(まつゆきそう)。	
学名のガランサスは、乳のように白い花・・・という意味です。 この花は、2～3月に開花し、初夏には 休眠期にはいって 葉が枯れてしまいます。		

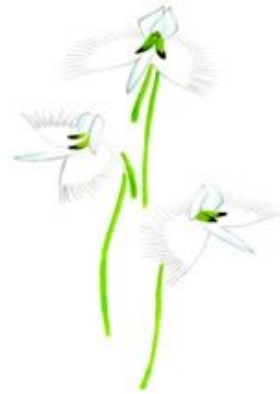
お花の栽培シリーズ

今月の花

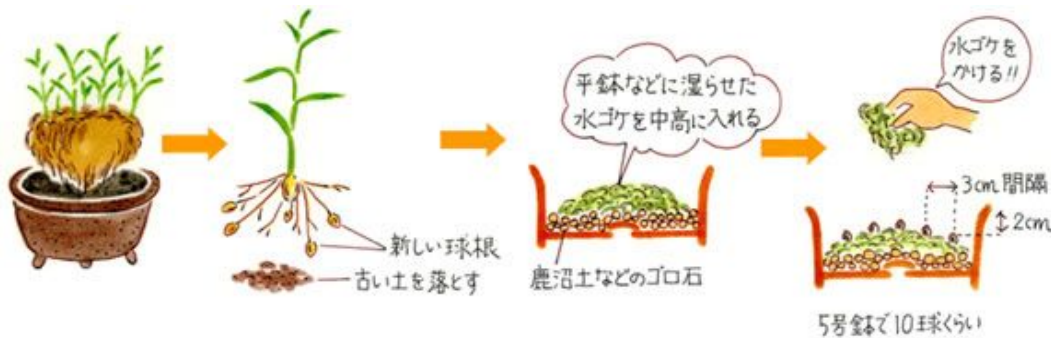
サギソウ



サギソウは、その名のとおり 空を舞う 白鷺の姿そっくりの 優雅な花が魅力的な草花です。
ラン科の植物で 日当たりのよい湿地帯などに自生しています。日当たりと 風通しのよい場所で 育てますが、水を好みますから 毎日 忘れないように水やりをします。
ただ、水はけの悪い用土では 蒸れたりして 株が傷んでしまうので 注意しましょう。
花がおわたたら、種がつかないように 花からは 摘んでおきます。
冬越しは、乾かさないようにすることがポイントですが、かといって 過湿もダメです。
適度の湿り気を 維持したいものです。
越冬させたら、3月に植え替えを行います。
このとき、古い球根についた 新しい球根を取って うえつけることで、新しい株をふやすことができます。



● 植えつけ／植え替え



● 越冬方法



発泡スチロール箱に湿らせた水ゴケを入れ鉢ごと埋め込む

サギソウの越冬は、乾燥させず 過湿にしないようにするのがコツです。
発泡スチロールなどの箱に 湿らせた水ゴケなどを 入れて 鉢ごと 埋め込んでおくとうまくいきます。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	休眠期		花期				花期		花期		休眠期	
置き場所	軒下など	屋外の日当たりのよい場所				屋外の半日陰		屋外の半日陰		屋外の日当たりのよい場所		軒下など
水やり	表土が乾いたら与える(1日に1回)											
肥料	液肥の4000倍液を 水やりがわりに与える				液肥の4000倍液を 水やりがわりに与える				液肥の4000倍液を 水やりがわりに与える			
害虫												
作業	植えつけ/植え替え		花がらつみ				花がらつみ				越冬用意	